

2016年の電波伝搬実験について

de JA1RIZ

今年の実験移動は、コントロール局および移動局で7ポイント、10局の参加局で行われました。例年より参加局が少なく、JJ1SXA局が昨年に引き続き福島県へと移動するなどでした。モバイル移動でのポイントは4、徒歩移動局ポイントは2という運用状況でした。

各局の移動展開状況として、最北端：JJ1SXA(喜多方市・三ノ倉スキー場)、最南端：JA1FYQ(鴨川市・愛宕山)、最西端：JA1WOB(埼玉県・有間峠)、最東端：JA1FYQ(鴨川市・愛宕山)に囲まれたエリアでした。

各地ともほぼ天気には恵まれたのではないかと思います。コントロール局はじめ各局お疲れさまでした。

各局の最大の関心事であった最長距離交信など、暫定結果として次の様に発表いたします。

(1) 最長距離交信 (暫定)

順位	移動局 A	移動局 B	相互距離 (km)
1	JA1FYQ/1 千葉県鴨川市	JA1RIZ/1 埼玉県秩父郡	127.5
	JA1RIZ/1 埼玉県秩父郡	JA1FYQ/1 千葉県鴨川市	127.5
3	JP1KHY/1 埼玉県狭山市	JA1RIZ/1 埼玉県秩父郡	28.4

車載移動局 ⇔ 車載移動局の間での200km超えの伝搬は残念ながらありませんでした。

1位の移動局 A ⇔ 移動局 B は相互に、RS=59/58で交信が出来ました。中間伝搬経路に山岳地帯を抱えるが、両局とも海拔高は単純見通し距離(相互の標高のみの条件で見通し距離を算出したもの。以下同様)は約174kmである。このため、減衰が少なく良い状態で更新できたと思われます。

3位についての伝搬は、両局間の単純見通し距離=144kmになっているがRS=53/53で距離的にはもっと良い状態で交信できると考えられるが、中間には山岳遮へい等が介在している結果かと考えられます。

今年の最大離隔距離のポイントは、[JA1FYQ/1⇔JJ1SXA/7:約279.8km]でしたがJJ1SXA/7では信号を確認できるも、交信には至りませんでした。

(2) その他

◎ 7エリアに移動した池OMからの指摘もあったのですが、特に遠距離間の交信では信号の浮き沈みがあるため、ブレイクタイムを頻繁に取って欲しいということがありました。

うまくタイミングが取れば、2~3局が交信できたのではないかとのことでした。通常のQSOでもそうですが、240グループの特徴でもある『ブレイクタイム』に留意してQSOの可能性を広げたいものです。

◎ 今回は、緯度・経度のデータにはつじつまが合わないような内容はありませんでした。各局の御協力に感謝致します。

コントロール局を担当の斉藤OM、宍戸OMお疲れ様でした。

何はともあれ各局各位の御協力には感謝いたします。

技術講習会では、伝搬実験の結果についてのご意見、提案、感想などよろしくお願い致します。

以上

2016/07/4 出稿

《各局のコメント紹介》

【JJ1SXA局】

何とか、コントロール局とQSOできたが、他は全滅、やはり7エリアは遠かったようだ。

実験本番終了後、JA1WOBとQSOする移動開始したJA1FYQの信号がメリット5(51)で入感、ブレイクするも、ブレイクタイム無しで、ブレイクかからずQSO断念、引き続き、JA1WOBとQSOするJA1RIZ、JP1KHYの信号も31位で入感するも同じくブレイクかからず残念でした、何とかQSO可の信号レベルだった、ブレイクタイム(一旦PTTを離す)の必要性を痛感した。

【JP1KHY局】

各局本日はお疲れさまでした。

バンドの中が騒がしい状態で、240参加局数もいまいちでしたが、最後は池さんとキイ局も繋がったようで、良かったですね。

当方はあまりにお手軽移動で、成果はほとんど無い状態。

【JA1FYQ局】

感想：今回の電波伝搬実験は移動各局の移動地が晴れとなり、とても良い実験になりました。

移動各局、大変お疲れ様でした。

さて実験そのものですがEs伝搬が有り、又コンテスト等によって50・240MHzの周波数が使用不可能となったため、50.440MHzの周波数において実験が開催されました。

私は今回の電波伝搬実験で、昨年使用した3/8λのモービル用センターローディングタイプのアンテナから50.240MHzに調整 (VSWR=>1:1.1) した1/2λセンターローディングタイプのモービル用アンテナで実験に参加しました。

モービル用のアンテナは帯域が狭く出来ていて、200KHz周波数が離れてしまうと多分VSWRの値が悪くなってしまう、アンテナとしての性能(効率)が悪くなっていると思います。(今回は、アンテナチューナーを用意しませんでした)

以上

【7M2FQY局】

GPで7エリアは無理でした。

【JA1WOB局】

7時15分位に「有間峠」に到着すると、同業者の先客局があり、50mhzのHB9CVが設置されていました。

早速挨拶をして、9時~10時位まで、50mhzを使用したい旨、伝えると了解して頂きました。

先客局の場所から100m離れた場所にANTを設置して、受信を開始しました。50.240Mhzはカブリが有るので、50.440MhzにQSYしました。

実験開始の9:00に先客局から、電波停止の連絡を頂き(感謝)スタートしました。240Mhzでも良かったかも知れませんが、Espも開けた様なので、「440」で良かったと思います。